

☆WTI原油百一・八一ドル、国産ナフサ五万三千七百円
アメリカ・WTI原油価格は五日、前日比一・四一ドル安の百一・八一ドルで取引された。ブレント百十二・一〇ドル、ドバイ百十・八一ドル。C&Fジャパン・スポットナフサは九百五十一ドル。プレミアム「十五ドル」、レート「七十七円」で試算した国産ナフサ価格は五万三千七百円。なお、韓台センター各社の足元の稼働率は、台湾八五%、韓国八〇%となっている。

☆化成成協・杉江会長「化学産業が世界をけん引する時代に」
化成工業協会は六日、都内で新年賀詞交歓会を行い、関係者二百五十名が出席した。杉江和男会長（DIC社長）は冒頭の挨拶で「今年の経済環境については大きく好転する材料に欠けており、需要の回復が期待できない状況にあるが、世界の価値観が大きく転換する中で、化学産業が果たす役割はますます大きくなっている。新たな価値観に対し、化学企業自身が製品を変化させることによって、世界のリーディング産業となることが可能だと考えている」と語り、化学の力が未来を切り開いていくことへの強い期待感を示した。その中で、化学製品を取り扱う環境については「化合物の特性や危険性のみならず、地球環境に与える影響などの知見から、グローバルに法律が整備され、強化されつつある」（杉江会長）とし、同協会では今までも増して国内外の法規制情報を可能な限り迅速に掴み、会員企業に最新情報を伝達していくことを重要課題の一つに掲げた。

☆JXエネルギー、ベンゼン一月ACP、一千六十ドル
JX日鉱日石エネルギーはこのほど、一月のベンゼンACP（アジア長契価格）をトン一千六十ドルで決着した。タイトな需給バランスを背景に強含んだ米国スポット市況に連れ高し、アジアのスポット市況も大幅に上昇。一月ACPは前月比九十五ドル高での決着となった。なお、国内価格換算想定値はキロ八十七・六円。

「旭化成／関連組織改正」（一月一日）「旭化成せんい」▽ファイバー・テキスタイル事業部のスポーツ生産開発室を生産開発担当に改称し、スポーツ衣料営業部に移管する▽CNB事業推進室を新設する「旭化成エレクトロニクス」▽マーケティング&セールスセンターの内部組織を下記のとおり再編する①スペシャルアナログ事業グループ、ビデオ事業グループ、新市場開発推進室、センシング事業推進室および車載事業推進室を廃止し、インダストリアルコンポ